



第 65 号

平成 28 年 7 月 1 日発行

発 行

広島県立障害者
リハビリテーションセンター
あ け ぼ の

〒739-0036
東広島市西条町田口295-3
TEL (082) 425-1455

印 刷 所

ワークホーム 聖 恵
竹原市忠海中町三丁目16番1号
TEL (0846) 26-1002

利用者、家族とともに

あけぼの長 三宅達士



平素よりあけぼのの運営につきましては、ご利用者やご家族をはじめ関係機関など多くの皆さまにご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在のあけぼのは、利用者の約9割が高次脳機能障害者のかたのご利用で、平成19年度に新体系に移行して以来、その割合は徐々に増え続けております。さらに平成27年度実績で、新規利用者の8割弱が高次脳機能センターからの利用者であるということとを考えると、今後ますますこの傾向は続くものと考えられます。また、それに応じ

て高次脳機能センターとの連携の必要性もさらに増すものと思われます。

また昨年度は、新体系に移行して以来、利用状況が最も落ち込んだ年でありました。低迷を続けていた機能訓練に加え就労移行もはじめて利用率が30パーセント台を記録するなど、利用率50パーセントを大きく下回る機能訓練・就労移行のグループと利用率は落ちたもののまだ比較的安定した利用のある生活訓練・生活介護のグループの二極化が顕著になって参りました。

今年度はそういった状況を踏まえ、各事業の利用の掘り起しや施設のPR活動に重点的に取り組むとともに、事業の枠組みに

とらわれず、利用者の実態をベースにした訓練の実施など、訓練内容の充実・強化をさらに図っていくこととします。

また、昨年4月に同一敷地内の医療センターにオープンした40床の高次脳機能障害専用病棟の状況にもらみながら、引き続き、ニーズに応じたトータルの定員減も視野に入れた事業定員の変更に取り組んで参ります。

さらに、昨年度からスタートしております「利用者の安全確保」「プライバシーの確保」「障害特性に対応した施設設備」等を基本的なコンセプトとした施設改修も計画的に進めてまいります。なお、今年度は昨年度完成のシャワールームに続き、大浴槽を個浴化する工事に取りかかるとともに、長年の懸案事項でありました居室のプライバシーの確保に向けての設計にも取りかかって参ります。

そのほかにもサービス提供体制（職員体制）の充実など多くの課題を抱えておりますあけぼのではございますが、“不安”をなくして「ファン」を増やす、利用者の不安を安心、笑顔に変えていけるよう職員一同努力して参ります。

今後ともよろしくお願い申し上げます。



☆改修工事が終了☆

より良い環境の施設に生まれ変わりました。

食堂テラスが完成しました。
スケルトンの屋根は開放的です。4月のバーベキューでは、笑い声があふれ、楽しく食事しました。

食堂テラス



シャワールーム



ご家庭に限りなく近い設備をモットーに安全で使いやすいシャワールームができました。
心地よく使用できる利用者が増えます。

社会生活力プログラムの

今年度の取り組みについて

主任 山下 留美

社会生活力プログラムは、自立訓練（機能訓練・生活訓練）の利用者を中心とし、あけぼの利用後の生活に必要な力を高めることを主な目的としています。

今年度は、「生活の基礎をつくる」「自分の生活をつくる」「社会参加する」のテーマ別にグループをつくり、今後の生活、社会参加に向けて、自分にとって最も大きなテーマになっていることに重点的に取り組むこととしました。「生活の基礎をつくる」は健康管理やセルフケアなど、「自分の生活をつくる」は洗濯や掃除など、「社会参加する」は外出、余暇活動、就労などをテーマにしています。

グループ討議を通じて自分の生活を振り返って生活状況を確認し、課題を実践できる方法を話し合い実践計画を立てます。今年度は、その実践計画をひとり一人が実際の生活の中で取り組むことを重視しています。ここで取り上げる課題は、あけぼのを利用する目的に直結しています。あけぼのでの訓練を今後の生活の中で生かすことができますよう、利用者が主体的に取り組むことができるようサポートしていきます。

行事紹介

あけぼのでは、利用者の皆さんの良い思い出になるような様々な行事を企画しております。今回は平成28年1月以降の行事の様子をスナップ写真を通して紹介させていただきます。



☆新春カラオケ大会

出場者10組♪ 観客の皆様も盛り上げます。



☆鍋 会

職員も鍋を囲み、心温まるひとときを。好評につき、来冬は3回行います。



☆コンサート

メイクアップボランティア率いるバンドの生演奏。ありがとう、また来てください。



☆鯊の解体ショー

豪快な包丁さばきは、何度見ても圧巻。新鮮なにぎり寿司、ハマチも美味でしたね。



☆桜の花鑑賞ドライブ

生活介護の新企画。近隣スポットの春を満喫。楽しい出会いにみんなの期待も膨らみます。



☆バーベキュー

テラスで初の催し。春の空気、お肉の焼ける香りに包まれながら、にぎやかに食事をしました。



☆ほのぼの交流会

オーエヌ保育園の園児さんの可愛らしさに癒されました。また秋に会えるのが待ち遠しいです。



☆野球観戦デーゲーム

対ソフトバンク戦は、5回コールドゲームの引き分けでした。

好調カーブ、これからも熱い試合を見せてね!!





新しい職員の皆さんに、
次の質問に答えていただきました。

- ① 趣味・特技
- ② 座右の銘
- ③ セールスポイントは何？
- ④ 「あけぼの」のみなさまへ一言




看護師
中西和子

- ① 特になし（以前はバレーボールをしていました。強いといえばストレス発散にウィンドウショッピングかな）
- ② 声仏事を為す（声に発することで心の状態を変えていくこと。「御義口伝」に引かれた章安大師の言葉で、声が「仏の仕事を行う」、声で「魔」を打ち破り「仏の力」を示すこと）
- ③ 何事もポジティブにとらえて、前向きに取り組んでいく。疲れていたり、イライラしている時もいつも笑顔。
- ④ 皆様の「あけぼの」での生活が、楽しく1日1日過ごしていけるようにサポートしていきたいと思います。よろしくお願いします。



生活支援員（主任）
藤井 健

- ① 水中ウォーキング
（昨夏よりスポーツジムのプールで週3～4回、1回で30～45分、歩いています。1年で5kg減量し、標準体重を維持しています。）
- ② 3つの「識」をモットーに務めています。「知識」「常識」「良識」を兼ね備え、仕事に従事していきたいと思っています。（西多摩療育支援センター施設長の吉野邦夫医師のことば。派遣研修の際に感銘を受けました）
- ③ 字が美しいこと
- ④ みなさんの願いや所作に寄り添いながら認識し、地域社会との架け橋になれるよう、協力させてください。



生活支援員
春日 渚

- ① 音楽・漫画
好奇心旺盛で、いろいろなことに関心があります。今は、通信教育でペン字を習っています。
- ② 有言実行。
- ③ どこでも寝られる。笑うと目が細くなる。
- ④ 働いて1ヶ月が過ぎましたが、至らぬ点が多々ありつつも励ましの言葉や感謝の言葉などを頂くこともあり、あけぼので働くことができて嬉しく思っています。ありがとうございます。これからも、しっかりとがんばっていきますので、どうぞよろしくお願いします！！



生活支援員
有根大稀

- ① 野球
- ② 七転八起
- ③ 明るい所
- ④ これからもお願いします。

◆利用者の動き

平成28年1月1日～5月31日

【入所者】 12人

【退所者】 9人（内、通所1人）

退所者の日中活動別内訳

自立訓練（機能訓練）	3人
自立訓練（生活訓練）	3人
就労移行支援	0人
生活介護	3人

◇進路

●生活の場

在宅	6人
施設、病院等	3人

●日中活動の場

復職	1人
障害福祉施設	3名

（就労継続B 1人、生活介護 2人）

●大学進学

1名

●障害者職業能力開発校

1名

●その他

3人

編集後記

4月より赴任し3か月、刊行に携わり今年の模様を共有させていただきました。

オバマ大統領の来広、リオ五輪など、大ニュースが多い年です。

好調カープの順位も気にしつつ、猛暑に十分用心し楽しく乗り切りましょう。

題字紹介



今回の題字は西山進さんに依頼しました。今年の2月末に入所されました。

生活介護の日中活動では、主に漢字や計算の問題に取り組み、平行棒での歩行訓練も意欲的に取り組んでおられます。